

施工前にこの施工説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
施工後は、お客様へご使用方法を十分ご説明のうえ、この施工説明書と取扱説明書をお客様へお渡しください。
※この施工説明書はMTB170KPT仕様のイラストで説明しています。

安全上のご注意

施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

人への危害、財産の損害を防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠

警告

「死亡または重傷」に結び付く可能性があります。

⚠

注意

「傷害または物的損害」に結び付く可能性があります。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

🚫

してはいけない「禁止」の内容です。

❗

必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠

警告

🚫

禁止

湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。
必ず給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。



🚫

禁止

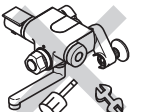
給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。給湯器の給湯温度は50℃～60℃に設定することをおすすめします。
85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



🚫

禁止

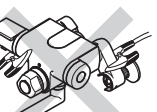
この商品を構成する部品以外の取り付けや、部品の取りはずし等の改造はしないでください。
器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



🚫

禁止

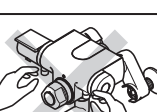
配管などの解氷のため、解氷機を使用する場合は、水栓には絶対に通電しないでください。
通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



🚫

禁止

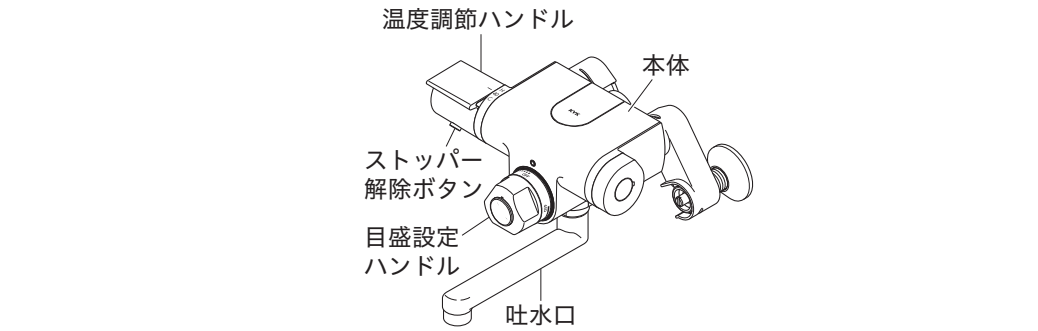
〔寒冷地仕様の場合〕
水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。
水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



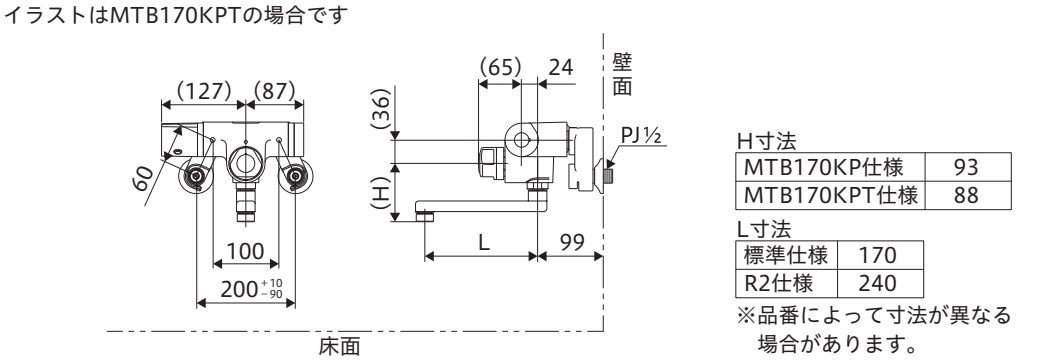
1 取り付け前に

- ① 使用水压（A＝（給湯器の最低作動水压）＋（配管圧力損失））
（1）瞬間給湯器との組み合わせ（設定条件 水温：25℃／給湯器温度調節：高温／吐水温度：42℃／ハンドル全開）
〔比例制御式〕最低必要水压：A+0.05MPa(動水压)、最高水压：0.75MPa(静水压)
（2）貯湯式給湯器との組み合わせ
〔給湯・給水圧力〕最低必要水压：A+0.05MPa(動水压)、最高水压：0.75MPa(静水压)
- ② 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より高くする、同圧になるようにしてください。
- ③ 給水圧力が0.3MPaから0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ④ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑤ 給湯器の設定温度は使用する吐水温度より高めに設定してください。給湯器の給湯温度は、50℃～60℃に設定することをおすすめします。
- ⑥ 給湯器からの配管は抵抗を少なくするため、最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑦ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑧ 本製品は、改造（構成する部品以外の取り付けや部品の取りはずし等）によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑨ 水道水および飲用可能な井戸水を使用してください。
- ⑩ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。
- ⑪ オートストップ(自動お湯はり)機能付きの給湯設備を水栓の湯側配管に接続して使用した場合、自動お湯はりが終わっても少量の水が出ることがありますが、異常ではありません。このような場合は、水栓のハンドルで水を止めてください。

2 取り付け完成図と各部の名称



3 寸法図



⚠

警告

❗

必ず実行

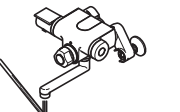
スチームルームおよび乾燥室にご使用の際は相談ください。
器具が破損してやけど・漏水のおそれがあります。



❗

必ず実行

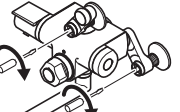
温度調節ハンドルの目盛が、吐水温度と合っているか確認してください。
使用条件によっては目盛通りの湯温にならず、やけどをするおそれがあります。



❗

必ず実行

ストレーナの清掃は止水弁または元栓で湯水を止めてから行ってください。また、操作の際は湯側ソケットが熱くないことを確認してください。
高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



⚠

注意

🚫

禁止

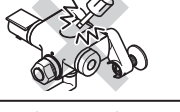
器具に強い力や衝撃を与えないでください。
器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



🚫

禁止

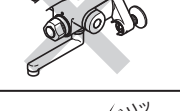
めっき部品はぶついたり落したりしないでください。
鋭利な物や硬い物を当てないでください。
めっきの表面が割れてけがをするおそれがあります。



❗

必ず実行

めっきの表面が割れた場合は使用しないでください。
けがをするおそれがありますので、ただちに使用を停止し、新しい部品に交換してください。



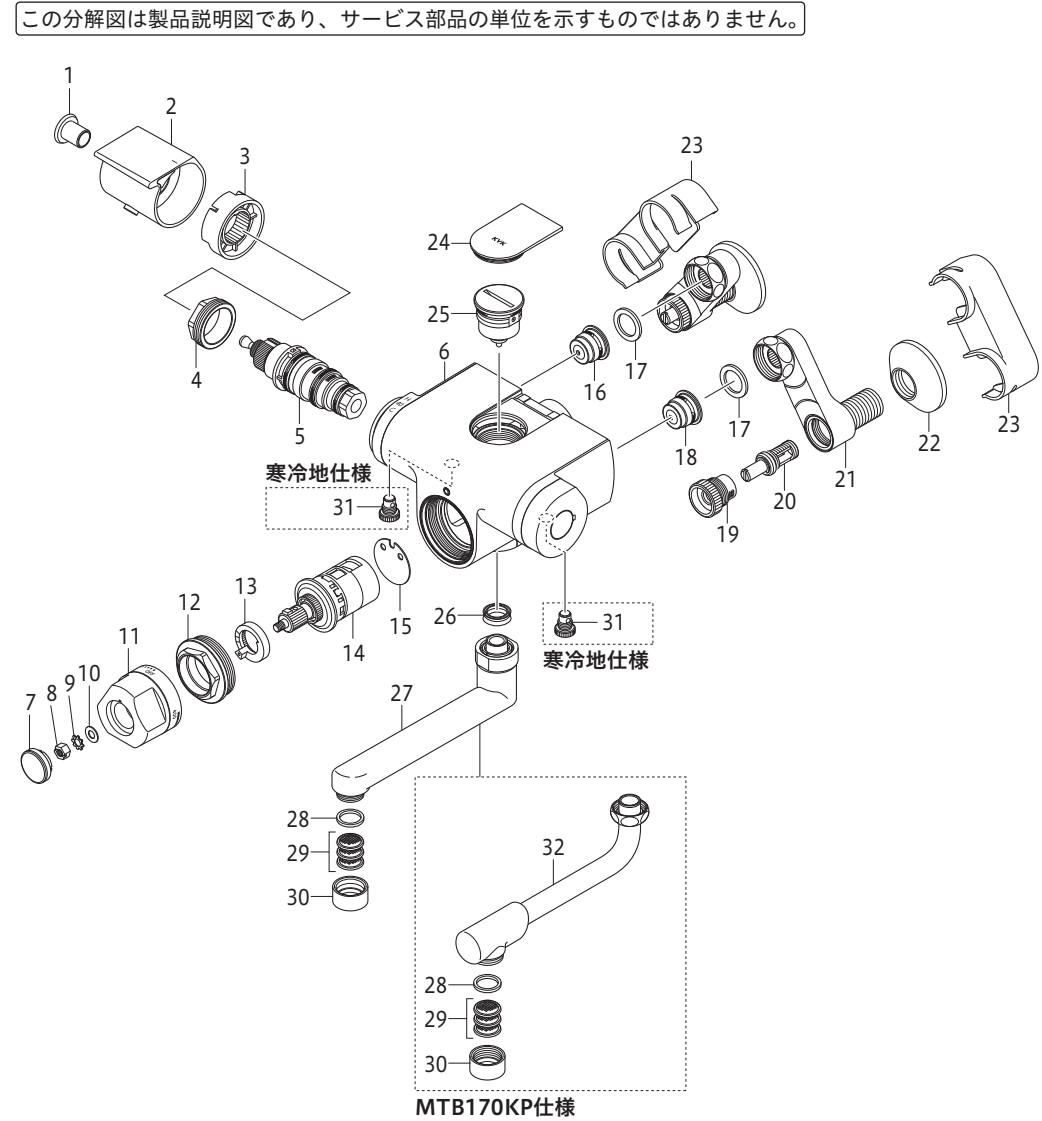
❗

必ず実行

凍結が予想される際、一般地仕様をお使いの場合は水栓本体や配管に布を巻くなどして凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。
水抜きしないと凍結破損で漏水し家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



4 分解図（部品の形状は仕様により異なります）



1	キャップ	11	目盛設定ハンドル	21	ソケット	31	水抜き栓
2	温度調節ハンドル	12	固定ナット	22	送り座	32	吐水口
3	ストッパーリング	13	ストッパーガイド	23	ソケットカバー		
4	温調固定ナット	14	定量カートリッジ	24	キャップ		
5	サーモスタートカートリッジ	15	パッキン	25	止水弁ユニット		
6	本体	16	湯側逆止弁	26	Xパッキン		
7	キャップ	17	パッキン	27	吐水口		
8	ナット	18	水側逆止弁	28	パッキン		
9	歯付座金	19	ストレーナ	29	ストレーナ		
10	座金	20	止水弁	30	整流器キャップ		

